

ANA ANAグループの持続的成長を目指して

ANAホールディングス株式会社 執行役員グループ經理・財務室長 (CFO) 福澤 一郎

この度は、「ディスクロージャー優良企業選定2017」において、運輸部門の優良企業に選定して頂き、誠にありがとうございます。弊社として2年連続3回目の受賞となります。市場関係者の皆さまに高い評価を頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

当社では、日頃のIR活動を通して「事業」と「財務」の両面から情報の開示に努めています。グループの中核会社である全日本空輸(株)を中心とした戦略をお伝えしていますが、近年は「2-Wayコミュニケーション」の深化にも力を入れており、アナリスト・投資家の皆さまから頂いた意見を経営陣と共有した上、内部で議論した成果を経営戦略に反映しています。

現在、当社グループは国際線事業の拡大を推進している最中ですが、2014年度当初は、供給の増加に見合った需要を本当に獲得できるのか、市場から多くの疑問が寄せられました。IR部門としては戦略の概要について丁寧な説明を繰り返しながら、四半期毎の実績を地道に積み重ねてきました。あれから3年半が経過しましたが、直近では売上高と利益の両面で過去最高値を更新するなど、これまでの成長戦略が着実な実績となり、価値の創造につながりました。今日に至るまで、時にはアナリストの皆さまと議論を交わしたこともありましたが、様々な対話を通して市場との信頼関係を構築できたことが、今回の選定結果にも結び付いたと考えます。

当社グループでは、トップマネジメントによる

市場との対話が最も重要な機会であると捉えています。経営戦略の考え方だけではなく、安全や品質サービスに込めた思いをお伝えすることによって、当社グループの持続的な成長に向けた道筋を理解して頂くことが可能となります。また、日頃の取材対応や決算説明会の他、主要な事業会社の経営陣とアナリスト・投資家が直接対話する「ANAグループ IR Day」や、経営の重要課題に対する取り組みを体感して頂くための「施設見学会」を開催するなど、非財務面においても当社グループに対する理解促進を図っています。さらに、「アニュアルレポート」を重要な対話ツールとして位置付けており、社長メッセージや現行戦略の解説の他、旬のテーマを特集記事として掲載したり、ESGへの取り組みについて紹介しています。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や訪日外国人客の増加等が経営の追い風となる中で、2020年頃には羽田空港における国際線の発着枠が再び拡張される予定です。これらをビジネスチャンスとして活かすために、アナリスト・投資家の皆さまとの対話を更に充実させていく方針です。透明性の高い情報を公正かつ適時に開示することを前提に、ガバナンスの強化を図りながら持続的な成長を追求し、当社グループの企業価値向上に努めることで、資本市場との信頼関係をなお一層強固にしていきたいと思います。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。